

製品名: ヒストン H1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00543**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 22 kDa; Observed MW: 30 kDa

抗原情報

遺伝子名	HIST1H1B
別名	HIST1H1B; H1F5; Histone H1.5; Histone H1a; Histone H1b; Histone H1s-3; HIST1H1D; H1F3; Histone H1.3; Histone H1c; Histone H1s-2; HIST1H1E; H1F4; Histone H1.4; Histone H1b; Histone H1s-4
遺伝子 ID	3007/3008/3009
SwissProt ID	P16401/P16402/P10412
免疫原	抗血清はヒトヒストン H1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

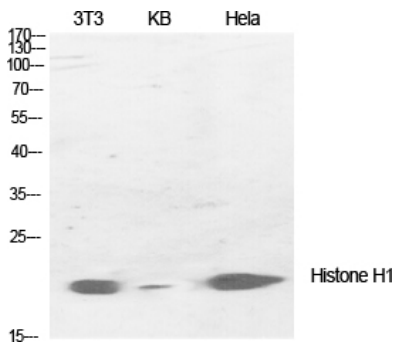
背景

ヒストン H1 タンパク質は、ヌクレオソーム間のリンカー DNA に結合し、クロマチン繊維と呼ばれる高分子構造を形成します。ヒストン H1 は、ヌクレオソーム鎖を高次構造の繊維に凝縮するために不可欠です。また、クロマチンリモデリング、ヌクレオソームスペーシング、DNA メチル化を介して、個々の遺伝子転写の調節因子としても機能します。

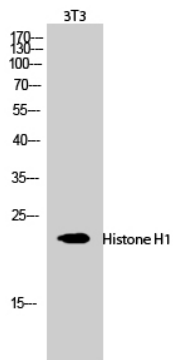
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



ヒストン H1 抗体を使用した、さまざまな溶解物中のヒストン H1 のウエスタン ブロット分析。



ヒストン H1 抗体を使用した 3T3 溶解物中のヒストン H1 のウエスタン ブロット分析。